

脂質動態を介した貪食の分子機構

Molecular mechanisms of engulfment through lipid dynamics

京都大学高等研究院 物質—細胞統合システム拠点 鈴木グループ 大和 勇輝

研究成果概要

本研究では、京都大学化学研究所スーパーコンピュータシステムを利用し、死細胞貪食因子を利用した新規貪食誘導分子開発のため、構造予測を行い分子候補の探索を行った。これにより得られた候補分子を用いた細胞生物学実験から、生体内で標的細胞を貪食する新規貪食誘導分子を開発することができた。本成果は、現在論文投稿中であり、特許出願も同時に進めている。